

《キーワード》 組織再建口腔外科学

《担当者名》 志茂 剛 奥村 一彦

【概要】

顎口腔領域に発生する腫瘍、嚢胞、炎症性疾患、外傷性疾患などの外科的治療法とその再建法手技につき実習する。また、自家骨移植、インプラント、骨延長などによる各種顎骨再建法の形態及び機能評価法に関する演習を行う。

【学修目標】

1. 顎骨嚢胞と炎症性疾患の外科治療について説明できる。
2. 顎関節疾患の診断と治療について説明できる。
3. 顎顔面外傷の外科治療について説明できる。
4. 頭頸部腫瘍の外科治療について説明できる。
5. 顎顔面再建法について説明できる。
6. 顎顔面再建に関する形態、機能評価法について説明できる。
7. 歯とその周囲組織の外科について説明できる。

【学修内容】

| 回 | テーマ | 授業内容および学修課題 | 担当者 |
|---|------------------|-------------|---------------|
| 1 | ガイダンス | | 志茂 剛 奥村 一彦 |
| 2 | 顎骨嚢胞と炎症性疾患の外科治療 | | 志茂 剛 奥村 一彦 |
| 3 | 顎関節疾患の診断と治療 | | 志茂 剛 奥村 一彦 |
| 4 | 顎顔面外傷の外科治療 | | 志茂 剛 奥村 一彦 |
| 5 | 頭頸部腫瘍の外科治療 | | 志茂 剛 奥村 一彦 |
| 6 | 顎顔面再建法 | | 志茂 剛 奥村 一彦 |
| 7 | 顎顔面再建に関する形態、機能評価 | | 志茂 剛 奥村 一彦 |
| 8 | 歯とその周囲組織の外科 | | 志茂 剛 奥村 一彦 |

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

口頭試問又は筆記試験

【教科書】

授業中に指示する。

【参考書】

授業中に指示する。

【備考】

外来・病棟及び手術室における実習を含む。

【学修の準備】

文献reviewを行ったうえで、evidenceの有る文献を批判的に精読し、論文の問題点と今後の研究課題について考察しておく。